消防署からのお知らせ

第4回 鶴居村防火標語「火は消した？ いのちをまもる あいことば」
令和5年度 全国統一防火標語「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

鶴居消防出初式

１月５日（金）、令和６年鶴居消防出初式が鶴居村総合センターにて執り行われました。

出初式には消防職・団員と来賓合わせて約90名が出席し、小野寺正幸副団長指揮のもと部隊行動や消防車両の整備状況を確認する特別点検が実施されました。続いて屋内で実施した式典においては表彰伝達式が行われ大石正行副組合長、松井廣道団長などから表彰者に日本消防協会定例表彰や北海道定例勤続表彰などの表彰状が手渡されました。

特別点検の様子

表彰式の様子

災害への備え　～持ち出し品(防災リュック)と備蓄品を準備しておきましょう～

先月は石川県能登地方を震源とする震度７の地震が発生し、多くの方が避難生活を余儀なくされています。

日本は地震や台風、洪水などの自然災害が多く発生する国です。災害時に備えて、「非常用持ち出し品」と「備蓄品」を準備しておくことは命を守るために非常に重要です。**下の枠内にあるチェックリスト**を活用しながら、日ごろから準備をしておきましょう。

◎非常用持ち出し品とは、災害発生直後に避難先ですぐに必要な物品です。
　リュックサックやバッグなどに入れて、持ち運びしやすいようにまとめておくと便利です。
◎備蓄品とは、災害発生後に避難生活や被災した状況での生活に必要な物品です。
　自宅に備蓄しておき、災害発生時に必要なときにすぐに取り出せるようにしましょう。

※、既に備えている場合は、賞味期限や使用期限が切れていないか確認しましょう。

非常用持ち出し品（避難の際に持ち出すもの）。

□水　□食品（ご飯、レトルト食品など：飲料水や非常食は最低３日分が目安です。）
□洗面用具　　□歯ブラシ・歯磨き粉
□衣類・下着　□タオル　□軍手　□防災用ヘルメット・防災ずきん　□ペン・ノート　□レインウェア
□懐中電灯（予備電池）　□携帯ラジオ　□携帯充電器　□救急用品（絆創膏、常備薬など）　□生理用品
□貴重品(通帳、現金、運転免許証、病院の診察券、マインバーカードなど)

◇感染症対策にも有効◇
□マスク　□消毒用アルコール　□石鹸など　□ウェットティッシュ　□体温計

◇冬の避難にあると良いもの◇
□カイロ　□ブランケット　□サバイバルシート

災害は、いつどこで起こるかわかりません。そんな災害のときのために、各種グッズをウォーターボトルに入れた**「防災ボトル」**を持ち歩くことをお勧めします。コンパクトに収納できるので、カバンやリュックサックに入れても気にならず、防災力を高めることができます。警視庁のＸ（旧Twitter）ご参考にしてください。